

2. 必須要素GOEの採点基準

パターン・ダンス要素およびパターン・ダンスのGOE(2022～2023シーズン)											
	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
設定基準 要求拍数を守れたステップの数	1AT:5ステップ以上が要求拍数維持されなかった 2AT:4ステップ以上が要求拍数維持されなかった					1AT:最大で4ステップが要求拍数維持されなかった 2AT:最大で3ステップが要求拍数維持されなかった	1AT:最大で2ステップが要求拍数維持されなかった 2AT:1ステップが要求拍数維持されなかった	要求拍数を守れたのがステップやエッジの100%(パートナーの両方)			
注:2人セットで1ステップと考え、パートナーの片方であれ両方であれ、エラーがあったステップを数えていく。											
設定基準 転倒／コントロール喪失 (支えあり・なし)	深刻なエラーが複数あり両方とも転倒	PD中に両方とも転倒、または、エラーが多数	要素の始めに片方が転倒、または、要素の終わりに両方が転倒	要素の終わりに片方が転倒、または、要素中に片方がちょっとだけ転倒(すぐ起きた)	両方がつまずき／タッチ・ダウンまたは要素の25%以下が実行できなかった	コントロールを失ったが、支えは不要だった(2回まで) または 片方がコントロールを失い、支えを必要とした(つまずき／タッチ・ダウンなど)(表に従って減点する)				なし	
特徴の数	よい特徴より悪い特徴／エラーが多い					基本的な 出来具合 － ほぼ正しい	よい特徴が 1～2	よい特徴が 3～4	よい特徴が 5～6	よい特徴が 7～8 (悪い特徴/エラーはない)	よい特徴が8超 (悪い特徴/エラーはない)
	悪い特徴が 8超	悪い特徴が 7～8	悪い特徴が 5～6	悪い特徴が 3～4	悪い特徴が 1～2						
悪い特徴						よい特徴					
要素全体を通じたエクセキューション											
1. エクセキューションが悪い、苦しげに要素をこなしている、コントロールできていない					1～4	1. 質がよいエッジ／ステップ／ターンが正確、クリーン、ディープ、確実					2 - 4
2. ステップ／ターンが違う(1回ごとに)例:チョクトウがモホークになったなど					1	2. 楽々とスムーズにできている					2
3. ユニゾンがない					1	3. ユニゾン(調和)と一体性が要素を通じてある					2
4. グライドやフロー(氷上の移動)がない					1～3	4. グライドやフロー(氷上の移動)が維持されている					2
5. 選んだリズムの特徴やスタイルに合っていない					1	5. 選んだリズムの特徴やスタイルに合うニュアンス／アクセントになっている					1 - 2
6. 規定のビートで始まらない(セクション／シーケンスごとに)					1	6. 両パートナーともに体のラインや身のこなしが選んだリズムに合い洗練されている					1
7. ホールドやポジションが正しくない、コントロールされていない、パートナー同士の距離が変動する: - パターンの50%未満 - パターンの50%以上					1	7. ホールドやポジションが正確でむらがなく、パートナー同士の距離が近い。					1 - 2
					2	8. タイミングが100%完璧					2
8. パターンが正しくない(許されないとところでロング・アクシスを横切るなど)					1 - 2	9. 正しいパターンで氷面を最大限に活用している					2

	コレオグラフィックを含む必須要素のGOE(2022～2023シーズン)										
	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	+4	+5
設定基準 音楽性	音楽の構造／リズムのパターンとずれている 選んだ音楽, リズム, 特徴をコレオグラフィック要素が反映 していない					普通	音楽の構造／リズムのパターンと合っている				
設定基準 転倒／エラー／コントロール喪失	深刻なエラーが複数あり両方とも転倒, または, 深刻なエラーが多数	両方とも転倒, または, エラーが多数	要素の始めに片方が転倒, または, 要素の終わりに両方が転倒	要素中に片方が転倒／深刻なエラー	つまずき／タッチ・ダウンが2回	コントロールを失ったが, 支えは不要だった(2回まで) または 片方がコントロールを失い, 支えが必要となった(つまずきやタッチ・ダウンなど)				なし	なし
特徴の数	ネガティブ - よい特徴より悪い特徴が多い					ほぼ正しい	ポジティブ - 悪い特徴よりよい特徴が多い			7～8 (悪い特徴なし)	8超 (悪い特徴なし)
	8超	7－8	5－6	3－4	1－2		1－2	3－4	5－6		
悪い特徴						よい特徴					
要素全体を通じたエクセキューション											
1. エクセキューションが悪い, 苦しげに要素をこなしている, コントロールできていない					1～4	1. スムーズに, および／または, 楽々とできている					2
2. 選んだ音楽／リズム／特徴の振り付けと要素が合っていない					1～2	2. 選んだ音楽, リズムの振り付けや特徴を要素が強めている					1～3
3. 入りや出が悪い(1回ごとに)					1～2	3. 入りや出がシームレス, 予想外, 創造的					1～2
4. 姿勢や動きがぎこちない, または, 美しい(パートナーごとに)					1～2	4. 体のラインやポーズが両方とも美しい, または, 特徴をよく表現できている					1～2
5. RD/FDの必須要素前後に長時間のセパレーションがあった					1～2	5. 要素の実行中に滑るスピードが落ちない, あるいは, 加速した					1
6. エクセキューションがずれている, および／または, ユニゾンがない(ステップ・シーケンス, STw, OFT, ChTw)					1	6. 要素が独創的および／または創造的					1～2
7. 要素中の距離 - 両手間隔を超える(ステップ・シーケンス, STw, OFT, ChRS) - 両手間隔の倍／4メートルを超える(ChSt) - パートナー同士の距離が変動する(ステップ・シーケンス, STw, OFT)					1～2	7. 要素を通じてユニゾンや一体性がある					1
						8. パートナー同士の距離が近く, 一定(STw, ステップ・シーケンス, OFT, ChRS)					1～2
8. 回転速度が遅い, あるいは, 落ちた(RoLi, DSp, STw Choreo EI)					1～2	9. 回転速度が落ちない, あるいは, 加速した(RoLi, DSp, STw, Choreo EI)					1～2
9. 位置がずれる(DSp, StaLi)					1	10. ステップ, ターンがクリーンで確実(STw, ステップ・シーケンス, OFT)					2
10. グライド(氷上の移動)がない(DSp, StaLiを除くすべて)					1	11. 2人同時に行うツイズルの1つ(1)(STw) あるいは2つ(2)において, 出がスムーズに流れるエッジだった.					1 2
11. パターン／配置(プレースメント)が正しくない(ステップ・シーケンス, ChSt, ChRS)					1						
12. 許されない要素が入っている*(ステップ・シーケンス, PSt, ChRS)					要素ごとに1	12. ホールドが多様(ステップ・シーケンス, DSp)					1
13. 氷上に両膝をつく, 座る, 横たわる形で止まって終わる ChSI					パートナーごとに1						

**RD: ハンド・イン・ハンド(ChRSを除く)、ループ(PStにおける1回のループ、ChRS中は除く)、レトログレッション。PSt中のストップ(スタート時を除く)、複数回および／または5秒を超えるストップ(スタイルBのステップ・シーケンス)。

*注: PSt(シニア)におけるコンタクト／ホールド／タッチの喪失は、テクニカル・パネルが評価する(ツイズルは除く)。それがエラーの結果として起きたのであれば、ジャッジがなにかする必要はない。

**FD: ハンド・イン・ハンド、ループ、ストップ。複数回および／または2小節を超えるレトログレッション、5秒を超えるセパレーション、パートナー間が両手間隔を超えるセパレーション

3. 減点表 (リズム・ダンスおよびフリー・ダンス) — 減点責任者

内容	罰則	責任者
演技時間違反 — 規程第502条による	5秒の過不足ごとに-1.0	レフェリー
違反要素／違反動作／違反ポーズ — 規程第704条第21項による — 総会決定待ち ISUコミュニケーションで別段の定めがないかぎり、助走部や最終部も含むリズム・ダンス、フリー・ダンス、パターン・ダンスにおいて、以下のような動作および／またはポーズは違反となる。 パートナーの頭に座る。 パートナーの肩に立つ。 リフトされるパートナーが倒立開脚姿勢をとる(両大腿部の保持された角度が45度を超える)。 リフトされるパートナーが倒立開脚姿勢をとる(両大腿部の保持角度が45度を超える)。 完全に伸ばした腕のみで、ブレード／スケート靴や脚を持ち、リフトするパートナーがリフトされるパートナーを振り回す。 リフトされるパートナーがリフトするパートナーの首に脚や足を絡ませただけの形で、手／腕を補助にすることなくリフトするパートナーがリフトされるパートナーを振り回す。 腕が完全に伸びており、リフトするパートナーのリフトする手／腕とリフトされたパートナーの身体との接触点がリフトするパートナーの頭より継続的に高い位置にある(補助の腕は、完全に伸びた状態で継続的に頭より高い位置にあってもよい)。 1回転を超えるジャンプ。ジャンプによる入りや出は除く。 氷上に横たわる。 確立(継続)しない、あるいは、ポーズを変更するためにのみ用いる場合、a)項～f)項のポーズをさっと経由することは許される。	違反ごとに-2.0	テクニカル・パネル テクニカル・スペシャリストが特定し、テクニカル・コントローラーが認定あるいは訂正して減点を行う。ただしテクニカル・コントローラーによる訂正要求に両テクニカル・スペシャリストとも賛同しない場合は、テクニカル・スペシャリストとアシスタント・テクニカル・スペシャリストによる当初の決定が維持される。どの要素であってもその実行中に違反動作があれば減点が適用され、その要素がレベル1以上の要件を満たしている場合はレベル1とコールされる。上記以外の場合、レベルBの要件が満たされていればレベルB、そうでない場合はノーレベルとコールされる。
衣装／小道具の違反 — 規程第501条第1項による 注:ダンス・リフトで衣装の一部を支えに使うのも小道具の違反となる。この場合、減点はレフェリーとジャッジが適用し、ダンス・リフトのレベルはテクニカル・パネルがコール基準に従ってコールする。	プログラム全体に対して-1.0	レフェリー＋ジャッジ 減点は、全ジャッジとレフェリーからなるジャッジ団の多数決によって適用する。意見が50:50に割れた場合は減点しない。減点は、ジャッジとレフェリーがボタンを押すと適用される。
衣装／装飾品の一部の氷上落下 — 規程第501条第2項による	プログラム全体に対して-1.0	レフェリー
転倒 — パートナーの1人が転倒するごとに — パートナーの両方が転倒するごとに 氷上に両膝を付くこと、両膝で滑走すること、氷上に座ることは許されず、ISUコミュニケーションで別段の定めがないかぎり、テクニカル・パネルによって転倒とみなされる(規程第709項および第710条第1項k))。 転倒とは、「スケーターがコントロールを失い、その結果、体重の過半が身体のブレード以外の部分、たとえば片手または両手、片膝または両膝、背、片尻または両尻、腕の一部によって氷上に支えられた状態」と定義されている(規程第503条第1項)。	-1.0 -2.0	テクニカル・パネル テクニカル・スペシャリストが特定し、テクニカル・コントローラーが認定あるいは訂正して減点を行う。ただしテクニカル・コントローラーによる訂正要求に両テクニカル・スペシャリストとも賛同しない場合は、テクニカル・スペシャリストとアシスタント・テクニカル・スペシャリストによる当初の決定が維持される。
演技開始の遅れ — 規程第350条第2項による — 1秒から30秒遅れて開始した場合	-1.0	レフェリー
10秒超の演技中断 - 10秒超、20秒以下 20秒超、30秒以下 30秒超、40秒以下 中断とは、スケーターが演技をやめた瞬間から再開した瞬間までの時間である(規定第503条第2項)。	-1.0 -2.0 -3.0	レフェリー 中断が40秒を超えた場合、レフェリーが音による合図を発し、そのカップルは棄権扱いになる。
中断箇所から再開してよい範囲の演技の中断 — 規程第515条第3項b)による	-5.0	レフェリー 中断開始後40秒以内にパートナーのいずれもレフェリーに申告しなかった場合、あるいは与えられた追加の3分間以内にカップルが演技を再開しなかった場合、そのカップルは棄権とされる。
振付制限違反 リズム・ダンス —第709条第1項d)(パターン)、g)(セパレーション)、h)(ストップ)、i)(手で氷に触れる)による フリー・ダンス —第710条第1項f)(セパレーション)、h)(ストップ)、j)(手で氷に触れる)による(ISUコミュニケーションで別途指定された場合を除く)	プログラム全体に対して-1.0	レフェリー＋ジャッジ 減点は、全ジャッジとレフェリーからなるジャッジ団の多数決によって適用する。意見が50:50に割れた場合は減点しない。減点は、ジャッジとレフェリーがボタンを押すと適用される。
余分な要素 余分な要素—ステップ・シーケンス中のリフトまたはスピンの(ChSt/ChRS含む)で許されていない場合(RoLi+ExEl, Sp+ExElなど) 余分な要素—リズム・ダンスの要件を満たさない、または、フリー・ダンスのウェルバランス構成に従わないとしてコンピューターが検出したもの(CuLi*など)。	要素ごとに-1.0 要素は無価値となる	コンピューターが減点を処理する。 テクニカル・コントローラーがコールの認定や訂正を行うとともに、減点の適用を確認する。

内容	罰則	責任者
音楽要件 リズム・ダンス: 規程第709条第1項c) (i)および(ii)による フリー・ダンス: 規程第710条第1項c)による	プログラム全体に対して-2.0	レフェリー + ジャッジ 減点は、全ジャッジとレフェリーからなるジャッジ団の多数決によって適用する。意見が50:50に割れた場合は減点しない。減点は、ジャッジとレフェリーがボタンを押すと適用される。
テンポ指定 — リズム・ダンス: 規程第709条第1項c) (iii)による	プログラム全体に対して-1.0	レフェリー
許容時間を超えるリフト — 7秒(ショート・リフト)、10秒(コレオ・リフト)、12秒(コンビネーション・リフト)を超過したリフトごとに	リフトごとに-1.0	レフェリー

4 「Judges Details per Skater」に記載される記号の説明(ジュニアおよびシニア)

記号	項目	説明
<	= レベルを1段階引き下げる。PDEで4拍以内の中断があった場合。	パターン・ダンス要素(PDE)で4拍以内の中断があった場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは1段階下げられる。「Judges Details per Skater」の表には「<」と記載し、4拍以内の中断があったことを示す。例: Yes, Yes, Yes, Yes — レベル4をレベル3に引き下げ
<<	= レベルを2段階引き下げる。PDEで4拍を超える中断があったが、ステップの75%は実施できた場合	パターン・ダンス要素(PDE)で4拍を超える中断があったが、パートナーの両方がステップの75%を実施できた場合、キー・ポイントは認定通りコールされるがレベルは2段階下げられる。「Judges Details per Skater」の表には「<<」と記載し、4拍を超える中断があったことを示す。例: Yes, Yes, Yes, Yes — レベル4をレベル2に引き下げ
!	= ノーレベル。PDEの25%以上が中断した場合	パターン・ダンス要素で実施できたステップが75%未満であった場合、テクニカル・スペシャリストはキー・ポイントを実行されたとおりコール(Yes, No, Yes, タイミング)するとともに、パターン・ダンス要素の名前と“ノー・レベル”に加え、“アテンション”とコールする。
S	= レベルを1段階引き下げる。PSt, SyTwでホールド/コンタクト/タッチにセパレーションがあった場合 = レベルを1段階引き下げる。SqTw, OFTでホールド/コンタクト/タッチがあった場合	パターン・ダンス・タイプ・ステップ・シーケンス(つなぎの振り付けとして行うツイズルは除く)、シンクロナイズド・ツイズル(ジュニア/シニアのFD)でパートナー同士がホールド/コンタクト/タッチしていない瞬間があった場合、あるいは、シーケンシャル・ツイズル(ノービスのFD, ジュニア/シニアのRD)、ワン・フット・ターン・シーケンスでパートナー同士のホールド/タッチ/コンタクトが途切れた場合、レベルが1段階下がる(パートナーそれぞれについて、SyTw, SqTw, OFT, PStで要素ごとに)。
>	= 1点減点。ダンス・リフトが長すぎた場合。	ダンス・リフトが許された時間より長かった場合、レフェリーが1点の減点を適用する。リフトの長さは、レフェリーが電子的に確認する。
ExEI	= 1点減点。「余分な要素」に対して。	ステップ・シーケンス中にリフトやスピンを行った場合(RoLi+ExEI, Sp+ExEIなど)、-1.0の減点が適用される。
*	= 1点減点。要件に合わない「追加の要素」に対して。	リズム・ダンスの要件やフリー・ダンスのウェルバランス構成を満たさない追加の要素が行われた場合、-1.0の減点が適用される。
F	= 要素中に転倒した場合	要素中に転倒があった場合、テクニカル・スペシャリストが要素中の転倒と認定し、該当する“Fall in Element”ボタンをデータ・オペレーターが押し、転倒ごとに-1.0の減点とする。

5. パターン・ダンスおよびパターン・ダンス要素に関する情報(2022～2023シーズン)

パターン・ダンスおよびパターン・ダンス要素に関するステップの割合を含む.

パターン・ダンスおよびパターン・ダンス要素に関するステップ数の割合 (2022～2023シーズン)										
カテゴリー	ダンス		シーケンス/セクションあたりの秒数	所定のシーケンス/セクション数	シーケンス/セクションあたりのステップ数	ステップ数				
						10%	25%	50%	75%	90%
ベーシック・ノービス	スウィング・ダンス	98 -102拍／分	37.6～39.2	2シーケンス	30					
						3	8	15	23	27
	ウィロー・ワルツ	132～138拍／分	23.4～24.6	2シーケンス	22	2	6	11	17	20
	タンゴ・フィエスタ	106～110拍／分	17.5～18.1	3シーケンス	16	2	4	8	12	14
インターミディエイト・ノービス	ロッカー・フォックスストロット	102～106拍/分	15.8～16.5	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	アメリカン・ワルツ	195～201拍/分	28.8～ 29.4	2シーケンス	16	2	4	8	12	14
	フォーティーンステップ	110～114拍／分	10.5～10.9	4シーケンス	14	1	4	7	11	13
	タンゴ	106～110拍／分	28.4～29.4	2シーケンス	22	2	6	11	17	20
アドバンスト・ノービス	ウェストミンスター・ワルツ	159～165拍/分	28.4～29.5	2シーケンス/4セクション セクション1: ステップ1-10 セクション2: ステップ11-22	11 13	1 1	3 4	6 7	9 10	10 12
	アルゼンチン・タンゴ	94～98拍/分	31.8～33.2	2シーケンス	31	3	8	16	23	28
ジュニア	アルゼンチン・タンゴ	94～98拍/分	15.9 ～16.6	1AT: ステップ1-18	18	2	4	9	13	16
			15.9～16.6	2AT: ステップ19-31	12	1	3	6	9	11